


13. 原型の型取り 1

13-1		<ol style="list-style-type: none"> 1) 切り金を20mm×25mmに切ります。材料は特に何でもかまわないと思いますが、ここでは0.3mm厚の真鍮板を使用しました。 2) 型は頭の前部と後部に分割するので、その境目とする線を竹べらで引いておきます。
13-2		<ol style="list-style-type: none"> 1) 境目の線に沿って切り金を差し込んでいきます。切り金は、お互いに数ミリ重なるようにして、粘度には5mmぐらい差し込みます。 2) 首部の石膏の流れ止めの台座にも切り金を差し込みます。
13-3		<ol style="list-style-type: none"> 1) 切り金を頭部全周に差し込みます。 2) 頭部を水平に保持する台座を粘土で作り、その上にラップ等を敷いて、溶かした石膏がこぼれてもいように準備しておきます。 3) 頭部の原型を粘土で作った台座の上に、切り金の面が水平になるように置きます。
13-4		<ol style="list-style-type: none"> 1) 100ccの水に石膏が水面と同じになるくらい入れ、石膏に泡が入らないように切るようにかき混ぜます。 2) 顔の部分に石膏をかけ、息を強く吹きつけて目や鼻の細かな部分に泡が残らないようにして石膏をかけていきます。
13-5		<ol style="list-style-type: none"> 1) 顔全体にまんべんなく石膏をかけます。 2) この状態でしばらく石膏が固まり始めるのを待ち(10分~20分)、その時点で残りの石膏を、全体が10mm厚程度となるようにかけていきます。